

# ティーボールのちょっとした工夫

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

秋の運動会が終わり、体育の授業は、低学年でシュートボール、中学年と高学年ではティーボールを行なっています。そこで、ここではティーボールの工夫したことをお知らせします。

## <ティーボール>

この単元で身に付けさせたい技能は、

- ①止まったボールをバットでフェアグラウンド内に打つ力
  - ②打球方向に移動してボールを捕る力
  - ③捕球する相手に向かってボールを投げる力
- の三つです。

高瀬小学校で使用しているものを一部紹介



ティーはコーンとペットボトル



梱包材で包んだ太いバット ボールは全て新聞紙をガムテープで包んだもの



チームごとの練習場（6ヶ所）

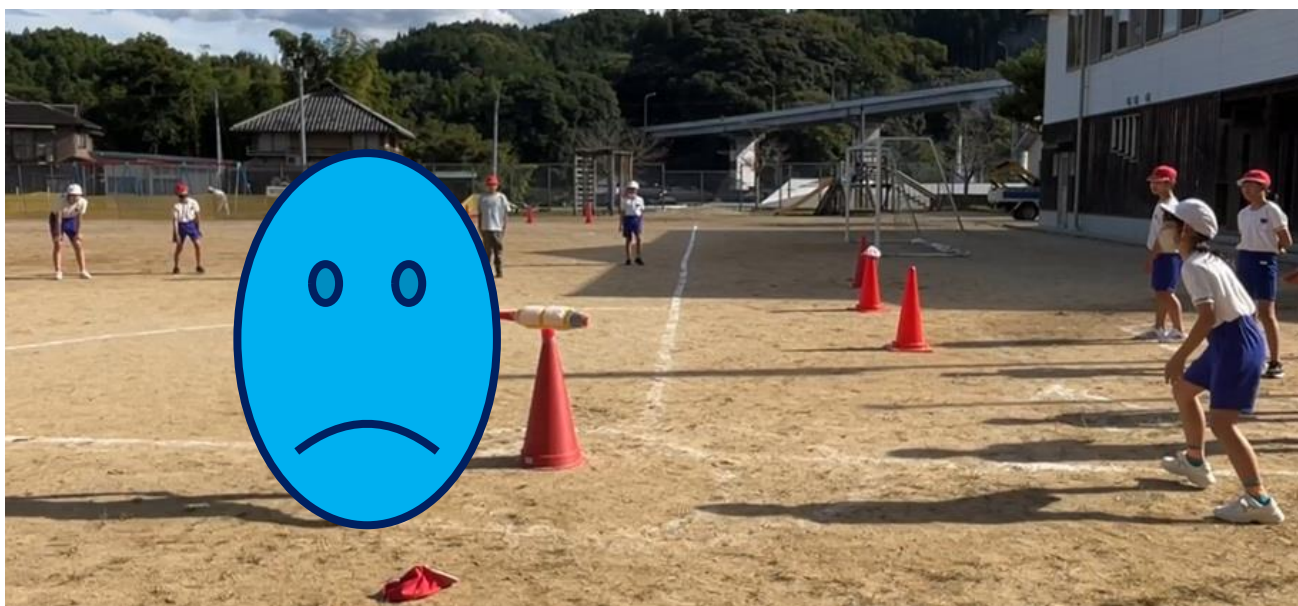


それぞれのネクストバッターズサークル（6ヶ所）  
※素振りコーナー

止まったボールをバットで打つことは、苦手な子にとっては精神的にもかなり厳しいことなので、たくさんの打つ機会を作ってあげ、苦手でもなるべく目立たず上達していく環境を整えてきたつもりでした。

**しかし、みんなが見ている場面において、一人で打つことにプレッシャーを感じている子は、必ずいます。**

授業者が、どうにかしてあげなければ。



**そこでまた新たにひと工夫**



**テニスラケットを  
6本かき集めてき  
ました。**



梱包材で極太バットを  
4本作成。  
(これが当たります  
飛びます！)



ティーのペットボトルもダブルとシングルの二種類に。



バットは4択になりました。

「投げる」も選択肢に入れてあります。



こういうのを「小さじ一杯の工夫」と言うのでしょうか。



まだまだ改善の余地はありますが、  
学習者と一緒になって、授業者の私も楽しんで  
います。